

国土交通本省
同時発表

令和3年7月28日14時00分
資料配布 近畿地方整備局

超重交通に対応する長寿命舗装技術に関する公募について

～ 新技術のさらなる活用の促進を図ることを目的としています ～

2018年3月の道路法の改正により、物流上重要な道路輸送網として「重要物流道路」が指定され、国際海上コンテナ車等の超重交通の増大に伴い、当該道路を構成する橋梁や舗装では、これまで以上に耐久性や長寿命化が求められています。

また、大規模な舗装修繕を行う場合は長期間にわたる通行規制が必要であり、特に重要物流道路で通行規制を行う場合には、渋滞が発生するなど外部不経済を引き起こすことが課題であることから、当該道路では舗装の長寿命化がより求められているところです。

このため、超重交通に対応するとともに、ライフサイクルコストの削減、さらには、舗装修繕工事に伴う渋滞損失の低減を図るために、新たな舗装技術を公募します。

応募技術の検証結果を技術基準等の改訂の基礎資料として用いるとともに、検証結果を公表することで新技術のさらなる活用の促進を図ることを目的としています。

なお、本公募は企業や製品・技術の認定を行うものではありません。

1. 公募期間： 令和3年7月28日（水）～令和3年9月28日（火）
2. 公募要領、応募資料作成要領、及び応募様式：
下記ホームページより、公募要領、応募資料作成要領、及び応募様式をダウンロードできます。
<https://www.jice.or.jp/roadtech/choujumyou-hosou>
3. 公募に関する問い合わせ：
一般財団法人 国土技術研究センター 道路政策グループ
超重交通に対応する長寿命舗装技術担当
TEL:03-4519-5002 FAX:03-4519-5012 E-mail: choujumyou-hosou@jice.or.jp
※本技術公募は、令和2年4月27日に開催された道路技術懇談会を経て導入促進機関として選定された「一般財団法人 国土技術研究センター」が行います。

<取り扱い>

<配布場所> 近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ

<問い合わせ先>

① 技術公募について

国土交通省近畿地方整備局道路部 道路構造保全官 まつもと 松本 たいち 太一（内4122）

TEL:06-6942-1141（代表） FAX:06-6949-0867

② 新技術導入促進計画について

国土交通省道路局国道・技術課道路メンテナンス企画室 課長補佐 たに 谷 せいじ 成二（内37892）

TEL:03-5253-8111（代表） FAX:03-5253-1620

「超重交通に対応する長寿命舗装技術」に関する公募について

○物流上重要な道路輸送網として「重要物流道路」が指定され、超重交通の増大に伴い、これまで以上に耐久性や長寿命化が求められており、また、大規模な舗装修繕を行う場合には通行規制による外部不経済を引き起こすことが課題であることから、舗装の耐久性を向上させる技術の公募を行う。

○技術検証の結果、技術基準改定案を作成の上、現場実装を実施する予定。

公募する技術

- 輪荷重5.75tを想定して嵩上げ無しで舗装の耐久性を向上させる技術
- 従来と同等もしくは少ない時間で施工・交通開放が可能である技術(日々交通開放)
- 従来技術と比較してLCCが同等もしくは抑制される技術
- 再生利用が可能である技術

国際海上コンテナ車(40ft背高)



<一般的制限値の引き上げ>

	高速自動車国道 ・その他
総重量 (t)	20 重さ指定道路25※1
車高 (m)	3.8 高さ指定道路4.1
車長 (m)	12

※1 車両長さ及び軸距に応じた制限あり

重要物流道路
(道路構造等の観点から
支障のない区間)

	国際海上コンテナ車(40ft背高) 特殊車両通行許可不要区間
総重量 (t)	44 ※2
車高 (m)	4.1 ※3
車長 (m)	16.5

※2 車両の車軸の数及び軸距に応じた制限あり
このほか、軸重(11.5t)、輪荷重(5.75t)の制限あり
※3 現行の規定(高さ指定道路)により指定



物流が集中する道路では、交通規制に伴う渋滞による経済への影響が甚大、舗装の損傷への影響も懸念

【現状の課題】

- 物流上重要な道路輸送網として「重要物流道路」が指定され、国際海上コンテナ車等の超重交通の増大に伴い、これまで以上に耐久性や長寿命化が求められている。
- 大規模な舗装修繕を行う場合は長期間にわたる通行規制が必要であり、特に重要物流道路で通行規制を行う場合には渋滞が発生するなど、外部不経済を引き起こすことが課題である。

想定される技術の例

- (例1) : 耐久性が高い層（アスファルト混合物）を厚くする設計や、その場合の作業を規制時間内に終了させる施工技術
- (例2) : より高い”ひびわれ抵抗性”、”わだち掘れ抵抗性”が得られる材料技術

(例3) プレキャストコンクリート版

